

建設国保への現行水準を

福保局 「期待と受け止め」 梶野課長ハガキ読み上げ



梶野国保課長（左）に要請書等を渡す月居都連副委員長。後方は予算要求のハガキの入ったダンボール箱が積まれている

【本部・末浪明子記】福祉保健局への交渉は代表団60人が参加しました。月居都連副委員長が要請書と都議会議員賛同署名（累計全都議126人中120人分）を梶野国保課長に手渡し、木村社保対部長が要請趣旨説明を行ないました。概要は①都費補助金の医療費・経費の増高分を含む現行水準確保、②生活習慣病予防対策事業やアスベスト疾患を含むがん対策事業への財政支援の拡充、③建設国保組合の育成・強化です。

特定健診・保健指導では、1億3100万円（2018年度比400万円減）を財政当局への要求額として報告。梶野課長は1月に行なわれる被保険者数の減少に伴い、受診者数減少が見込まれるため、微減となり、受診者数の増加と組織拡大による被保険者数の増加が課題となりました。各国保組合から保険者機能を活かした医療費削減の取り組みを紹介、7人の仲間が厳しい労働環境、生活の実態、命を守る建設国保の重要性、がん対策事業への財政支援、アスベスト対策は都全体で施策の検討を、と訴えました。梶野課長は1月に行なわれる知事査定に向け概算要求額を確保するよう財政当局へ要求していくとの決意を述べ、交渉を終りました。

11・20対都 要請行動

増加が課題となりました。

消費税引き上げ中止を政府に要請してほしいとの都連の要望に、主税局は持続可能な社会保障制度の構築のため、消費税の引き上げは将来的に避けて通れないと考えている、国も経済に影響がないように対応しているとの回答し、増税中止を政府に要請する考えのないことを明らかにしました。交渉団は消費税は逆進性が強い、軽減税率導入で確保しなくてはならない1兆円の財源として医療・介護の改善を見送るなど低所得者へ負担増を押しつけていると、主税局の考えを責めました。税務行政の拙速なIT化への反対とマイナーの利活

主税局 収入記載は削除を 拙速なIT化はするな



主税局との交渉で発言する東京土建の齋藤税対部長

主税局交渉は交渉団長の山本都連税対部長を含めて11人、主税局からは6人、総務局から1人が参加しました。都が出している個人の事業所得算定に関する明細書（第24号様式）で、収入金額を記入せよとあるが、収入記載は法定要件ではないから削除してほしいという都連の要望に対して、主税局は所得税法で収入を記入した書類を確定申

現場実態示し追究 引上げ効果不十分と認識 産労局

【本部・村松加代子記】産業労働局、財務局、建設局交渉は、中村都連賃対部長らを含む21人の交渉団で実施。要請内容は、1. 建設技能者の処遇改善に

都整局 耐震使い勝手よく 空き家解体負担減らせ

【本部・根釜勝記】都市整備局交渉は松広都連理事対策部長始め17人の参加。「リフォーム助成制度の創設」、「耐震化・耐火化について」、「公共建築物への木材利用促進」空

賃金と福利 厚生きちんと



植竹さん

オームの住宅相談があるから出てほしいと分会の仲間に頼まれてからです。それから組合活動にはまり、今は分会組織部長をしています。組合の会合のたびに法定福利費の確保を訴えています。厚生年金を掛けるかどうかで将来がガラッと変わります。そうしないと職人さんも少なくなってしまう。若い人が入ってくるためには賃金と

き家の利活用等の具体化」の4つを柱にすすめました。リフォーム助成では都として直接的なものは無く、各自治体の助成に対し「後ろ盾」で財源支援をしている。耐震化で2022年3月末までは段階的に複数回工事しても助成する。区市町村の制度もあり、都と国はその補填という形となっている。公共建築物への木材利用促進では法があり、その中に区市町村でも方針を定めることになっており、現在13都区市町村で木材利用方針を策定。空き家の利活用等の具体化は都内の約8割の自治体で調査が進み、空き家対策法が施行されてから3割の自治体で計画策定が進み、計画に基づく具体的な対策は「これから」と回答がありました。参加者からは「耐震目的で訪問するが市民の相談は多岐にわたるので部位別のリフォーム助成が集約的にできれば消費者も安心して住むことができる。改修工事を金銭的にできない人が多い。市民の実際の現場の声を聞いて、制度構築をお願いしたい」と他県では旧耐震基準だけでなく、2000年基準にも助成している。都も前向きに検討を「空き家を壊すと税金が上がる。考えてもらいたい」と要望しました。この間、リフォーム助成制度の創設について都民の相談窓口の運営を行なっているというところでしたが、窓口設置はしていないことが明らかとなり、今後の交渉に活かしていきます。

消費税引上げ は死活問題



三橋さん

【多摩・稲城・豊・三橋誠さん談】町場で豊屋をしています。ですが、大手との価格競争ではなかなか勝てません。豊の仕事自体も減ってきて年々厳しさを増すばかり。このような状況で消費税を上げられたら死活問題です。要求の中で特に訴えたいことは、建設国保を守ることです。亡父が入院して助けられたことがあるので、大切さはよく分かっています。職人は体が資本なので、何かの時に頼りになる建設国保のために、補助金の現行水準を確保してほしいです。

集会に参加した仲間の声

詰将棋の解答

▲2一角成△2三玉▲1馬
△同玉▲1三金△1一玉▲2三桂まで7手詰。